

西成連区地域づくり協議会だより

通 巻

第 38 号

発行日：平成三年五月一日

発行者：西成連区地域づくり協議会 一宮市小赤見字郷浦五三（一宮市西成出張所内）

電話：28—9002

誰もが安心して暮らすことができる 西成連区を目指して

ご近所の絆「見守りネットワーク」事業浸透

西成連区地域づくり協議会は、今年も西成連区で生まれた西成方式の「見守りネットワーク」を、より一層浸透させることになりました。

この、ご近所の絆「見守りネットワーク」事業の協力者は、向こう三軒両隣に「気配り・目配り・声掛け」のできる、西成連区内に住む皆さんたちです。

詳しくは、各町会を通じ全戸配布しました、ラミネート加工された保存版概要説明書をご覧ください。

■ご近所の絆「見守りネットワーク」とは？

「誰もが安心して暮らせる、安全なまち」にするために、地域住民の協力を得て、見守り支えあうことで、温もりのある地域「西成」を目指したものです。

■どんな活動をするの？

一人暮らしの老人、夫婦だけの老々世帯、寝たきりの障害者世帯などの要援護者世帯に、向こう三軒両隣の地域住民が「気配り、目配り、声掛け」をする。

■対象者は？

①一人暮らし老人・夫婦だけの老々世帯 ②寝たきりや障害を持った方を自宅で介護し、手助けが必要な世帯 ③家族が働きに出ていて、一人になってしまうお年寄りのいる世帯 ④両親が共稼ぎで、子どもだけが留守番をしている世帯 ⑤母子・父子家庭、児童支援家庭 ⑥児童虐待など見守りが必要な世帯…など。

■具体的にどうするの？

①朝になっても雨戸やカーテンが開かない ②夜になっても電灯がつかない ③新聞、郵便物、牛乳などがたまっている ④ここのところ姿を見かけない…など、気になることや不安を感じることがあったら、町会長や組長、民生児童委員さんなどに連絡してください。問題解決のため関係先とも相談して、適切な対応を行います。

認知症の正しい理解とサポーター養成講座（開催予告）

●6月5日（日）10:00~11:30 ●のいりクレストホール時之島・青空市実施時●

主催：西成連区地域づくり協議会 協力：まちの達人尾張北の会 指導：一宮市高齢福祉課・地域包括支援センター

西成を学び 西成の良さを知り 西成のために みんなの英知を集めよう！

熱き郷土愛を育み 西成の連帯の輪を築こう

〉〉 お出かけ時には 鍵をかけ安全 声をかけ安心 くく

防犯は 向こう三軒両隣の絆で

地域から犯罪をなくす身近な方法があります。それは「あいさつ・声かけ」です。犯罪を企てる者は、地域住民に声をかけられることを嫌います。声をかけられると、自分が注目されている、顔を見られていると認識し、脅威になるのです。

つまり、あいさつや声かけをすることは、地域での絆を深める効果に加え、犯罪抑止にも効果があるといえます

犯罪の発生を未然に防ぐ「あいさつ・声かけ運動」を西成地域に根付かせ広げていくため、夏の安全なまちづくり愛知県民運動のスタートに合わせて展開します。

HPをご覧ください。「にしなり」（ひらがな）で検索！ <http://www.138nr.com>